

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会 第9回会議【質疑要旨】

- ・日時 平成30年7月17日(火) 18:30～19:50
- ・会場 厚田保健センター 1階多目的ホール
- ・出席者 委員13名
  - ・保護者： 小笠原英史(厚田小PTA会長)、角田由希(望来小PTA会長)、早坂伊佐雄(厚田中PTA会長) 阿部 保(聚富小中PTA会長)、
  - ・学校関係者： 石橋浩明(厚田小校長)、三浦崇史(厚田中校長)、青山 司(聚富小中校長)
  - ・学校支援推進員： 渡邊教円(厚田小)、渡部賢二(望来小)、小林晴美(厚田中)
  - ・厚田区地域協議会： 築田敏彦(厚田区地域協議会会長)
  - ・学識経験者： 佐藤勝彦(札幌大学名誉教授)  
前田賢次(北海道教育大学札幌校准教授・教育方法学)
  
- 教育課程部会 鬼塚建次(厚田小教頭)、徳田和之(聚富小教頭)、  
(学校管理職) 野口俊之(厚田中教頭)、北村 剛(聚富中教頭)

※欠席 伊東優子(望来小校長)

事務局

[市教委]

佐々木生涯学習部長、佐藤教育指導担当次長、安崎総務企画課長、佐々木学校教育課長、照山指導担当参事、相原厚田生涯学習課長、清水市民図書館副館長、松永総務企画課主幹、古屋総務企画担当主査、加藤施設担当主査、西山厚田生涯学習課主査、石黒学校教育主事

※傍聴者4名

【開会あいさつ(佐藤委員長)】

今日は校名案を決定することとなっており、開校に向けていよいよ具体的な動きに入ってきた。委員の皆さんには活発なご意見をいただきたい。

【校名募集の結果報告及び校名案の協議について】

→ 事務局(松永総務企画課主幹)より説明報告。

別添「校名募集 集計一覧」の内、3ページの最後に記載の校名案「厚田向日葵学園」については市外在住者からの応募であり、募集要件(応募資格)に合致していないこと、及び2ページ

のNo.31～33「英徳学園」については連載マンガ（花より団子）で使われている校名であることを確認し、事務局としていずれも校名案として相応しくないと判断した。よって選考対象は36人・24種類の校名案として、決定に向けた協議をお願いしたい。

（佐藤委員長）

事務局からの報告を受けて、委員の皆さんから率直なご意見やご提案をいただきたい。

（A委員）

「厚田」は外せないのではないか。

（佐藤委員長）

一覧を見ると、「厚田」、「あい風」、「学園」の3つのキーワードを使った校名が多いのがわかると思う。このことも参考にしながら、引き続きご意見をいただきたい。

（B委員）

正直決めかねているが、例えば保育園も併設されることも含め、子ども達は自分の学校名を書く場面があるので、あまり難しくなく字数も多くない方がよいのではないかと思う。

（C委員）

私は地元（厚田区在住）ではないが、「あい風（あいかぜ）」というワードを小学生からの応募で多く使われていて、新鮮に感じた。

（D委員）

私も決めかねている。仮に「石狩市立〇〇〇学園」となった場合、履歴書などで卒業した学校名を書く時にどうなるのかと思った。後ろに初等部や中等部が付くのかどうかなども考えたりして、あまり文字数が多いのはどうかと思っている。

（佐藤委員長）

ご意見ありがとうございます。ちなみに、後ろ（結び）に「義務教育学校」を付けた校名は一つだけ（No.35のみ）で、学校種としてまだ広く知られておらず、まだ馴染みのない名称だと感じたところである。

（E委員）

今回の応募の中で、「あい風・あいかぜ」という言葉が小学生で多く使われたのは、厚田小学校にあいかぜ図書館があるということが大きいとされていて、あまり意味がわからないまま応募したのではないかと推測している。

(F 委員)

私は、「〇〇〇学園」か「〇〇〇小中学校」のどちらがいいのか迷っていて、たぶん「〇〇〇学園」の方が響きがいいというのがあるかもしれないが、果たしてそれでいいのかどうか悩んでいる。

(佐藤委員長)

以前は、私立の学校で公立校と区別できるように、「学園」を使うことが多かったと思っている。校名案として、例えば「石狩市立厚田義務教育学校（愛称：厚田あい風学園）」という一例もあるかと思うが。

(G 委員)

校名を決めるのは難しいと感じている。「あい風」という言葉について意見が出されているが、私が実際に「あい風」という言葉を認識したのは、この約 10 年位だと思っているので、正直なところ「あい風」を入れるのはどうかと考えている。

(佐藤委員長)

これまでのご意見を伺って、校名を見たり、聞いたりした時に、誰からも小中一貫校だということがわかることが大事で、保育園を併設していることも頭に入れておく必要があると感じたがいかがか。

(H 委員)

応募一覧を送っていただいて、「あい風」を使うのは有りかと思っていたが、各委員のご意見をお聞きすると、ここ 10 年位で使われてきた言葉で、自分が子どもの頃は確かに聞かなかったと感じたところだ。しかし、最近はいろいろな場面で使われているので、その判断が難しいと思っている。

(I 委員)

私も校名の結びを「学校」と「学園」のどちらにするか悩んでいる。保育園も兼ねそろえた小中一貫校ということで「学園」がいいと思う一方で、自分が応募した校名案の結びは「学校」にした。ただ頭は、やはり厚田唯一の学校なので「厚田」はつけるべきだと思っている。

(佐藤委員長)

私見になるが、「小中学校」はへき地校のイメージを持っている。「学園」は先ほど申し上げたように、これまで私立校で使われている例が多いが、今後、小中一貫の義務教育学校が増えてくることを考えると、それほど抵抗感は無くなっていくのではないかと考えている。

ただ、ご意見にあったように、子ども達が卒業した後、出身校を紹介する場面で、どういうイメージで受け止められるかということを考えておく必要があると思う。

(事務局：佐々木生涯学習部長)

保育園も併設することに関するご意見をいただいている中で、新校舎に現在の厚田保育園が移設されることになっているが、保育園の名前が変わるか、変わらないかについては現段階ではまだ決まっ

ていなく、これまで議論はされていない。

(I 委員)

先ほどから皆様のご意見を聞いて、「あい風 (あいかぜ)」を入れるかどうかを焦点に検討してどうか。

(佐藤委員長)

ありがとうございます。「あい風 (あいかぜ)」を校名に入れるかどうかについて、ご意見をお願いしたい。ちなみに「あい風」は、どのような風のことなのか、事務局の方でわかるでしょうか。

(事務局：佐々木生涯学習部長)

一般的には、北寄りの比較のおだやかな風と言われているが、人によっては冬の暴風のことを言うとも言われている。ただ日本海側の地方では一般的に使われている風の名前で、友好都市の石川県輪島市では総合計画に使われていることなど、良いイメージの風であると認識している。

(E 委員)

私の感覚としては、「あい風」は昔、北前船が渡ってきた時以来、漁師さんだけが使った言葉で、農家の人は使わなかったように感じていて、厚田区民全員がわかっている名前ではないと思っている。

(佐藤委員長)

もう一度確認をしたいが、応募一覧の中で一番多く使われたキーワードが「厚田」「あい風 (あいかぜ)」「学園」の3つであること、No.10~12 の「厚田あい風学園」は小中学生からの応募であったことであること、の二点である。

そのことから、今、私から第一案として、「厚田あい風学園」がいいかどうかを提案したいと思うので、それに対するご意見をお願いしたい。

もう一点は、第二案として、No.24 の「厚田義務教育学校」は、開校する学校そのものを表している校名であり、愛称として「厚田あい風学園」とする案についてのご意見をお願いしたい。

そして、第三案は、上記二案以外の校名があれば提案していただきたい。

(F 委員)

「厚田義務教育学校」はかたい名前というイメージを持ってしまう。もう一つは、今、厚田小にある「あいかぜ図書館」が小中学校の中に一緒に入ったときに、子ども達にとってもわかりづらくなってしまわないだろうかと思った。

(E 委員)

私は、校名の結びは、地域に高齢者も多いので「学園」がわかりやすくいいのではないかということで、そうすると「厚田学園」でもいいのではないかという気がしている。

(A委員)

子ども達が高校に入学した時、どこの中学校の出身かの自己紹介をする場面があることを考えると、「厚田義務教育学校」は少し妙な気がしている。今後、義務教育学校の名前や制度が知られてくるかもしれないが、それらも考えると、「厚田学園」とするのもいいのではないか。

(佐藤委員長)

今、第三案として「厚田学園」という提案がありました。ちなみに応募一覧では、No.19～21 にあるとおり、64歳と15歳、14歳の3人からの応募があった校名案であるがいかかがか。

(H委員)

将来的に、石狩市で義務教育学校を開校するという予定や計画はあるのだろうか。

(事務局：佐々木生涯学習部長)

今のところ正式に決まったものはないが、方向性としては小中一貫の教育効果が高いということが証明されていく流れになってくるのではないかと考えている。

(C委員)

全国的にコミュニティ・スクールと小中一貫教育の導入をセットで進める動きが、学校統合と併せて行われている中でどんどん増えてくると思っている。

(B委員)

最初は「厚田あい風学園」が無難でいいかなと思ったが、皆さんの意見を聞いてきた中で、第三案の「石狩市立厚田学園」も字面や響きもいいのではないかと思えてきた。

(D委員)

義務教育学校という言葉、名称が先進的だと思っていたが、今後そのような小中一貫の学校が増えていくので使わない方がいいと思った。そして、今回閉校するどの学校も100年を超える歴史のあった学校なので、新しい学校の名前も100年先にまで残るような名前であればいけないと思った。

(佐藤委員長)

今、ご意見をいただいた「100年先にも残る学校名」という視点は、とても良いと感じたところだ。そして、校名の頭には「厚田」、結びには「学園」をつけるということを総合すると、「石狩市立厚田学園」という校名に収まると思っていたがいかかがか。

(G委員)

「あい風（あいかぜ）」の取捨について、今の厚田区全体で考えたときに、浜に住んでいる人、生活してきた人にはよく知っているかもしれないが、望来や聚富の方にはあまりイメージ的でないというのが実状だと思っている。そして、義務教育学校という学校制度上の名称もあるが、結論としては

シンプルな方がいいのではないかと感じている。

(佐藤委員長)

委員の皆さんから、率直なご意見をいただきありがとうございました。  
それでは、校名案として「石狩市立厚田学園」ということでよろしいか。

(委員全員、了承)

(佐藤委員長)

それでは、校名案を「石狩市立厚田学園」とすることに決定した。  
事務局から今後のスケジュール等について教えていただきたい。

(事務局：松永総務企画課主幹)

今日の設立準備委員会の内容について、7月19日の市議会建設文教常任委員会と、7月24日の教育委員会会議7月定例会において報告した後、同会議8月定例会においては、校名を「石狩市立厚田学園」として盛り込んだ形で、石狩市立学校設置条例の一部改正案として、9月開会の市議会第3回定例会で議案提出するための審議を行うこととしている。

(委員全員、了承)

#### 【厚田中学校の移転について】

- 事務局(松永総務企画課主幹)より、夏季休業後の授業再開(8/23)までに行われる移設業務・工事等について口頭説明。
- ① 現・厚田小1階の音楽室と音楽準備室が、厚田中の職員室と校長室に転用するための各種工事が行われること。
  - ② 現・厚田小2階の視聴覚室に、厚田中コンピュータ教室のパソコン、プリンタ等を設置すること。
  - ③ 厚田中の普通教室(1～3年)は、厚田小2階の空き教室に移転すること。
  - ④ 8月6日から10日迄の期間に、厚田中の備品等を厚田小の各教室等へ移設するとともに、不用品を廃棄処分すること。
  - ⑤ 8月8日以後、厚田中校舎の解体工事により、校舎内への立入り・使用は不可となること。
  - ⑥ 厚田中の電話・FAX番号は、移転後も従来どおりの番号(変更無し)であること。

(委員全員、了承)

#### 【その他】

- 事務局(松永総務企画課主幹)より、次回会議を本年10月に開催予定であることを連絡した。  
(閉会)

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成30年10月29日

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会

委員長 佐藤 勝彦